

# 神通川森林計画区

## 第五次国有林野施業実施計画書

計画期間 自 平成29年 4月 1日  
至 平成34年 3月31日

林野庁中部森林管理局

この国有林野施業実施計画（以下「本計画」という。）は、国有林野管理経営規程に基づき、国有林の地域別の森林計画及び地域管理経営計画に即し、森林管理局長が森林計画区域内の管理経営する国有林野の箇所別の伐採、更新等について5年ごとにたてる5年間の計画である。

この本計画の計画期間は平成29年4月1日から平成34年3月31日までの5年間である。

## 目 次

1	国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域	1
2	施業群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量	1
(1)	伐採造林計画簿	1
(2)	水源涵養 <sup>かん</sup> タイプにおける施業群別面積等	1
(3)	水源涵養 <sup>かん</sup> タイプの施業群別の上限伐採面積	2
(4)	伐採総量	2
(5)	更新総量	3
(6)	保育総量	3
3	林道の整備に関する事項	4
4	治山に関する事項	5
5	保護林の名称及び区域	6
6	レクリエーションの森の名称及び区域	9
7	公益的機能維持増進協定の名称及び区域等	10
8	その他必要な事項	11
(1)	施業指標林、試験地等	11
(2)	フィールドの提供	12

1 国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域  
国有林野施業実施計画図による。

2 施業群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量  
並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量

(1) 伐採造林計画簿

伐採・更新箇所ごとの伐採・更新面積及び方法等については、伐採造林計画簿に示すとおりである。

(2) 水源涵養<sup>かん</sup>タイプにおける施業群別面積等

施業型	施業群	面積 (ha)	施業の方法等		伐期齢 又は 回帰年
			施業方法	目標とする森林	
単層型 (短期)	小面積 分散伐区	18.15	育成単層林施業	伐区を縮小、分散化させることにより、小流域単位で見た時にモザイク的配置となることで、林齢、林相が異なる多様な森林。	スギ 65 カラマツ 65
漸伐 複層型	人工林漸 伐複層型	593.88	育成複層林施業	人工林又は天然林において、漸伐により部分的に伐採し、人為的あるいは天然力により複層林化を図った複数の樹種及び樹冠層を構成（階層構造）する森林。	N 85
	天然林漸 伐複層型	1202.12	育成複層林施業		N 200 L 180
択伐 複層型	天然林択 伐複層型	168.83	天然生林施業	天然林において、択伐により部分的に伐採し、人為的あるいは天然力により複層林化を図った複数の樹種及び樹冠層を構成（階層構造）する森林。	N 200 (35) L 180 (25)
その他		41.29	試験地等の設定目的による。		
合計		2,024.27			

(注) 1 林地以外の土地の面積は含まない。

2 ( ) は回帰年である。

(3) 水源涵養<sup>かん</sup>タイプの施業群別の上限伐採面積 (単位：ha)

施業群	上限伐採面積
小面積分散伐区	1.40
漸伐複層型	44.90
択伐複層型	24.10

(注) 1 上限伐採面積は、計画期間（5年）分の面積である。

2 契約に基づいて主伐を実施する分収林が含まれる場合は、上限伐採面積を超えて定めることができる。

(4) 伐採総量 (単位：m<sup>3</sup>, ha)

区分	林地					林地外	合計
	主伐	間伐	小計	臨時伐採量	小計		
山地災害防止タイプ	土砂流出崩壊防備		(54.93) 7,350	7,350			
	気象害防備						
	小計		(54.93) 7,350	7,350			
自然維持タイプ							
森林空間利用タイプ							
快適環境形成タイプ							
水源涵養 <sup>かん</sup> タイプ	小面積分散伐区	(3.91) 3,397		3,397			
	人工林漸伐複層型		(156.10) 23,065	23,065			
	その他		(1.75) 343	343			
	小計	(3.91) 3,397	(157.85) 23,408	26,805			
合計		(3.91) 3,397	(212.78) 30,758	34,155	2,345	36,500	36,500
年平均		(0.78) 679	(42.56) 6,152	6,831	469	7,300	7,300

(注) ( ) 書きは伐採面積である。

## (再掲) 市町村別内訳

(単位 : m<sup>2</sup>)

市町村名	林 地					林地以外	合計
	主 伐	間 伐	小 計	臨時伐採量	計		
富山市	3,397	27,502	30,899				
魚津市							
黒部市		3,059	3,059				
上市町							
立山町							
朝日町		197	197				

(注) 市町村別内訳には、臨時伐採量及び林地以外の土地に係る伐採量は含まない。

## (5) 更新総量

(単位 : ha)

区 分		山地災害 防止タイプ <sup>°</sup>	自然維持 タイプ <sup>°</sup>	森林空間 利用タイプ <sup>°</sup>	快適環境 形成タイプ <sup>°</sup>	水源 <sup>かん</sup> 涵養 タイプ <sup>°</sup>	合計
人工造林	単層林造成					2.35	2.35
	複層林造成						
	計					2.35	2.35
天然更新	天然下種第1類						
	天然下種第2類						
	計						
合計						2.35	2.35

## (6) 保育総量

(単位 : ha)

区 分		山地災害 防止タイプ <sup>°</sup>	自然維持 タイプ <sup>°</sup>	森林空間 利用タイプ <sup>°</sup>	快適環境 形成タイプ <sup>°</sup>	水源 <sup>かん</sup> 涵養 タイプ <sup>°</sup>	合計
保 育	下 刈					7.82	7.82
	除 伐					5.49	5.49

## 3 林道の整備に関する事項

(単位：m)

基幹・その他別	開設・改良別	路線名	林班・箇所	延長	備考
基幹	改良	長棟	201 ほか	15箇所	1,500
		万波	228~230	5箇所	500
		向山	203, 215~217	3箇所	300
		越道	12	5箇所	500
		計		28箇所	2,800
その他	開設	三本松割	201	1箇所	800
		千軒平	206, 207	1箇所	1,000
		計		2箇所	1,800
	改良	小又谷	207, 208	5箇所	500
		大又谷	207, 209, 210	5箇所	500
		清水平	203~205	5箇所	500
		三本松割	201	5箇所	500
		千軒平	206, 207	5箇所	500
	計		25箇所	2,500	
	合計	開設		2箇所	1,800
改良			53箇所	5,300	

(注) 災害復旧等緊急を要する工事については、指定箇所以外においても実行できる。

## 4 治山に関する事項

(単位：保全施設 箇所、保安林の整備 ha)

位 置	区 分	工 種	計画量
相ノ又, 東又谷, 北又谷, 阿部木谷, 南又谷, 白萩川, ブナクラ谷, 小又川, 一の谷, 松尾谷, 長棟川上部, 小又谷	保全施設	溪間工	12
相ノ又, 南又谷, ブナクラ谷, 一の谷, 長棟川上部	保全施設	山腹工	5
東又谷, 相ノ又, ブナクラ谷	保全施設	その他	3
神通川計画区管内の保安林区域内	保安林 の整備	保安林 改 良	16.32
合 計	保全施設	溪間工	12
		山腹工	5
		その他	3
	保安林 の整備	保安林 改 良	16.32

(注) 1 保全施設の計画量「箇所数」は「単位流域」数を表す。

2 位置は単位流域を表す。

3 災害復旧等緊急を要する工事については、指定箇所以外においても実行できる。



5 保護林の名称及び区域

ア 生物群集保護林保存地区

名 称	新・既別	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	特 徴 等	施 業 等
北アルプス (朝日・白馬 連山)	新設	4,794.33	19い・イ 20イ・ロ 21イ・ロ 22い・イ・ロ・ ハ 23い・イ・ロ	後立山連峰の西側に所在し、 主な傾斜方位は西向きである。 朝日岳から日本海までの距離 が短く、冬期の季節風を直接受 けるため日本海側の代表的な植 生となっている。また、朝日岳 から白馬岳一帯は、山岳地形の 変化に富み、超塩基性の蛇紋岩 地帯があるため、400種にも及 ぶ高山植物が生育していること から、これらの生物群集を有す る森林の保護・管理を図る。	原則として、人手を加えず 自然の推移に委ねた保護管理 を行う。 当該保護林に外接する森林 においては、当該保護林の急 激な環境の変化を避けるた め、原則として皆伐等による 施業は行わないものとし、複 層伐及び択伐を中心とした育 成複層林施業又は天然生林施 業を行う。
北アルプス (黒部・五 竜・針ノ木)	新設	7,535.39	101い～は・イ 102い・イ 103い・イ 104い・ろ・イ・ハ ・ニ 122い～は・イ 123い～は・イ・ ロ 124い～は・イ 137ハ	立山連峰の剣岳から雄山と後 立山連峰の鹿島五竜岳から爺ヶ 岳の間に位置する。 黒部溪谷一帯には、岩石急斜 面植物群落、乾性及び湿性崖植 物群落、高山風衝わい性低木群 落、高山風衝草原、高山高原草 原などが広範囲に生育してお り、これらの生物群集を有する 森林の保護・管理を図る。	原則として、人手を加えず 自然の推移に委ねた保護管理 を行う。 当該保護林に外接する森林 においては、当該保護林の急 激な環境の変化を避けるた め、原則として皆伐等による 施業は行わないものとし、複 層伐及び択伐を中心とした育 成複層林施業又は天然生林施 業を行う。
面積計		12,329.72			

イ 希少個体群保護林

名 称	新・既別	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	特 徴 等	施 業 等
タテヤマスギ遺伝資源	新設	18.29	139ふ	<p>立山西山麓のブナ坂国有林の西へ伸びる尾根上の天然生林で、タテヤマスギ、ブナ、ホオノキ、ダケカンバ等が分布している。保護林の周辺に面積は多くないが、人工林がパッチ状に分布している。南側に接する常願寺国有林も天然生林を中心とした林分となっている。</p> <p>原生林として群生する立山スギの個体群の保護・管理を図る。</p>	<p>原則として、人手を加えず自然の推移に委ねた保護管理を行うこととするが、当該個体群（タテヤマスギ）の保護・増殖に必要な森林施業は可能とする。</p> <p>当該保護林に外接する森林においては、当該保護林の急激な環境の変化を避けるため、原則として皆伐等による施業は行わないものとし、複層伐及び択伐を中心とした育成複層林施業又は天然生林施業を行う。</p>
愛本ウラジロガシ等	新設	2.51	50ろ～へ	<p>飛騨山脈の北端、黒部峡谷帯が平野である黒部扇状地となる境界に所在する。</p> <p>暖温帯林で常緑広葉樹が生育するヤブツバキクラス域である。河川に近接し風が強くあたる道路上の岩山に、高齢のウラジロガシの群落が成立している。</p> <p>富山県内にウラジロガシ、ケヤキがまとまって生育している天然林が少ないことから、その個体群の保護・管理を図る。</p>	<p>原則として、人手を加えず自然の推移に委ねた保護管理を行うこととするが、当該個体群（ウラジロガシ等）の保護・増殖に必要な森林施業は可能とする。</p>

名 称	新・既別	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	特 徴 等	施 業 等
薬師岳・雲ノ平圏谷群 高山植物	新設	250.19	116イ 117ハ	<p>北アルプスのうち、奥黒部山地にあり、薬師岳山頂付近は急峻であるが周辺部は平坦な箇所が多い。山稜東側に氷河地形が出現する。</p> <p>薬師岳東側一帯には、氷河によってできた圏谷が並び学術上の価値が高く、その特異な立地条件に特有の希少な高山植物が生育していることから、その個体群の保護・管理を図る。</p>	<p>原則として、人手を加えず自然の推移に委ねた保護管理を行うこととするが、当該個体群（高山植物等）の保護・増殖に必要な森林施業は可能とする。</p> <p>当該保護林に外接する森林においては、当該保護林の急激な環境の変化を避けるため、原則として皆伐等による施業は行わないものとし、複層伐及び択伐を中心とした育成複層林施業又は天然生林施業を行う。</p>
立山オオシラビソ	新設	75.40	137い 140ほ	<p>常願寺川源流域にある立山溶岩台地の弥陀ヶ原台地に所在する。オオシラビソは風衝地等でわい性化している。低木層はチシマザサの被度が高く、その間に落葉広葉樹であるナナカマド、ミネカエデ、ミヤマナラ等が低被度で成立している。草本層は、低木層が発達しているため少ない。</p> <p>豪雪地帯にオオシラビソ（アオモリトドマツ）の天然林がまとまって生育している箇所は少ないため、その個体群の保護・管理を図る。</p>	<p>原則として、人手を加えず自然の推移に委ねた保護管理を行うこととするが、当該個体群（オオシラビソ）の保護・増殖に必要な森林施業は可能とする。</p> <p>当該保護林に外接する森林においては、当該保護林の急激な環境の変化を避けるため、原則として皆伐等による施業は行わないものとし、複層伐及び択伐を中心とした育成複層林施業又は天然生林施業を行う。</p>
面積計		346.39			

6 レクリエーションの森の名称及び区域

(1) 自然観察教育林

名称	既・新別	面積 (ha)	位置 (林小班)	選 定 理 由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備考
室 堂	既設	15.88	137ニ・ホ・ト・ヌ	中部山岳国立公園内にあり、立山・黒部アルペンルートの拠点及び立山への登山基地となっている。広大な溶岩台地と点在する高山植物を見ることができ、大日岳から立山連峰に至る雄大な山岳景観の眺望にも優れ、自然観察にも適している。	林地以外	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歩道 (富山県・環境省)</li> <li>・ 野営場 (富山県)</li> <li>・ 宿舎施設 (民間)</li> <li>・ 博物展示館 (環境省)</li> </ul>		
面積計		36.45						

(2) 森林スポーツ林

名称	既・新別	面積 (ha)	位置 (林小班)	選 定 理 由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備考
北 又	既設	63.05	12わ・れ・や 13ろ・は・か 17ろ	朝日県立自然公園区域の中にあり、朝日岳への登山基地として利用されているほか、周辺の森林景観を活かし、キャンプや自然探勝など森林内での活動に適している。	育成複層 林施業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歩道 (朝日町)</li> <li>・ 野営場 (朝日町)</li> <li>・ 宿舎施設 (民間)</li> </ul>		
		12む・う・の・く 13る・わ 17は・に	天然生林 施業					
		12イ 13イ	林地以外					
面積計		63.05						

(3) 風致探勝林

名称	既・新別	面積 (ha)	位置 (林小班)	選 定 理 由	施業 方法	既存施設 の概要	施設 整備	備考
御前沢	既設	28.29	120ろ 121はに ----- 104ロ 105ロ・ニ 121ハ・ル	中部山岳国立公園内にあり、立山・黒部アルペンルートの中黒部湖の利用拠点である。ブナ、ネズコ等多様な林相からなり、黒部湖の両岸にそそり立つ立山、後立山連峰の雄姿は、林内散策、自然探勝等に適している。	天然生林施業 ----- 林地以外	・ 歩道 (富山県・民間) ・ 野営場 (富山県) ・ 展望施設 (民間) ・ 宿舎施設 (民間)		
美女平	既設	158.96	138ろ～に 139そら・の・や ----- 138ね 139つ・む・う	中部山岳国立公園内にあり、学術的にも貴重な「立山スギ」及びブナを主体とした天然林が広がり、変化に富んだ森林景観を楽しめる。また日本有数の野鳥の宝庫としても知られ、自然探勝や探鳥等にも適している。	育成複層林施業 ----- 天然生林施業	・ 歩道 (富山県) ・ 宿舎施設 (民間)		
櫛平	既設	74.07	29は 30に・ほ・ち 32はに 33ろ～に 35は～へ 36は 41ろ～に ----- 30イ 35イ～ホ	中部山岳国立公園内にあり、黒部峡谷鉄道の終点区域に位置している。黒部川を中心に雄大な渓谷美が広がり、宿泊施設や野営場が設置され、ハイキングや自然探勝に適している。	天然生林施業 ----- 林地以外	・ 軌道 (民間) ・ 歩道 (富山県・民間) ・ 野営場 (富山県) ・ 宿舎施設 (民間) ・ 休憩所 (富山県・黒部市)		
面積計		261.32						

7 公益的機能維持増進協定の名称及び区域等  
該当無し

8 その他必要な事項

(1) 施業指標林、試験地等

種 類	名 称	設定年	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	備 考
施業指標林	前更皆伐天然下種更新施業指標林	H 4年度	7.56	210よ、た	伐採前に後継樹を発生・生育させることにより、更新を確実にを行うための指標になる林分である。
	ブナ地帯天然更新施業指標林	S 53年度	10.20	213ら	ブナ地帯における天然更新施業技術の確立に向け、収穫から更新に至る技術体系の検証等の指標になる林分である。
試 験 地	千軒平スギ人工林収穫試験地	S 41年度	1.75	206に	成長量、収穫量、その他の資料を収集し林分構造の推移を解明する。
	広河原スギ人工林収穫試験地	S 41年度	2.91	207わ	同 上
次代検定林	西山名第2号	H 1年度	1.00	201えの一部	精英樹相互間の人工交配によって得る交配家系の生育結果から、各形質の遺伝様式を検定するための林分である。
特別母樹林	立山スギ	S 46年度	80.95	139つ、む、ふ	林木育種事業を計画的能率的に実施するため、樹形・材質が優良な種子を採種する林分である。
遺伝子保存林	立山スギ	S 53年度	4.57	204ら、わ、め	林木育種事業を計画的能率的に実施するため、現存する林木の優良遺伝子群を確保保存し、遺伝子補給源として活用する。
	同 上	S 52年度	2.00	214ふ	同 上
巨樹・巨木	ブナ平の立山スギ	H 12年度	(37.28)	138ねの一部	「巨樹・巨木に係る自主的な保全活動の推進について」(平成11年12月20日付け林野業第182号林野庁長官通知)により選定された巨樹・巨木が賦存する林分である。
森林施業モデル林	水源 <sup>かん</sup> 涵養タイプモデル林	H 14年度	3.95	210り	公益的機能重視の森林施業の取り組みを、国民にわかりやすくアピールするために設定したモデル林である。

(2) フィールドの提供

社会貢献の森

名 称	面積 (ha)	位 置	設 定 の 目 的 等
風とせせらぎの森林 (平成22年度設定)	2.86	222ら、む	協定相手方：特定非営利活動法人きんたろう倶楽部 協定期間：平成33年度末まで (平成28年度末更新) 目 的 民間団体が竹林整備等を行う フィールドとして設定。
計	2.86		